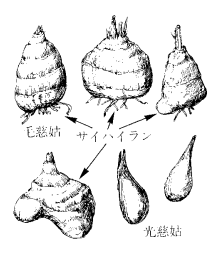


生薬解説 144 さー7

音順	生薬名	中医の性味・帰経	中医の用量
中医学生薬解説、参考・使用上の注意		および中医学以外の生薬解説・生薬学解説	
さー7	<p>さんじこ 山慈姑</p> <p>中医生薬解説</p>  <p>サイハイランなどの仮球茎</p>	<p>甘・微辛・寒・小毒 肝・肺・胃</p> <p>清熱解毒・消癰散結 熱毒癰腫（皮膚化膿症）、療癰結核（リンパ節腫やしこり）、毒蛇咬傷、疫毒による腹痛下痢などに、雄黄・続躑子・麝香などと用いる「紫金錠」。</p> <p>乳癌、咽喉癌、肺癌、食管癌、子宮頸癌、皮膚癌などに試用されているが、効果については検討を待たねばならない。</p>	<p>1回0.6～0.9g、丸、散として内服。 外用には適量。</p>
参考		近年、食道癌、リンパ肉腫などに試用されているが、今後の検討を要する。	
使用上の注意		<p>外用には、粉末を醋で調製する。</p> <p>長期間大量に服用すると、悪心、嘔吐を引き起こす。</p>	